

2014年
4月号



Mini-WAN



Top News!

～三河港湾事務所だより～

三河港ふ頭再編改良事業の新規事業化！

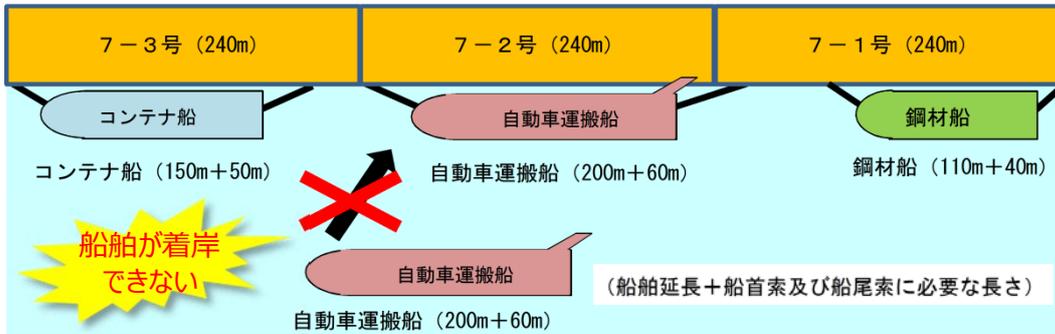
日本の主力産業の一つである自動車メーカーは、全国各地に組立工場を有しており、その直近の港湾を利用して完成自動車の輸出入を行っています。その中でも、三河港の背後圏である愛知県及び静岡県西部には多くの自動車組立工場が立地し、三河港は日本の自動車産業の拠点港湾の一つとなっています。特に完成自動車の輸入においては、21年連続全国一位の取扱量を誇っています。

自動車運搬船が着岸する7号岸壁では、岸壁延長が足りないことから、別の船が沖で待機しなければならないといった問題があります。

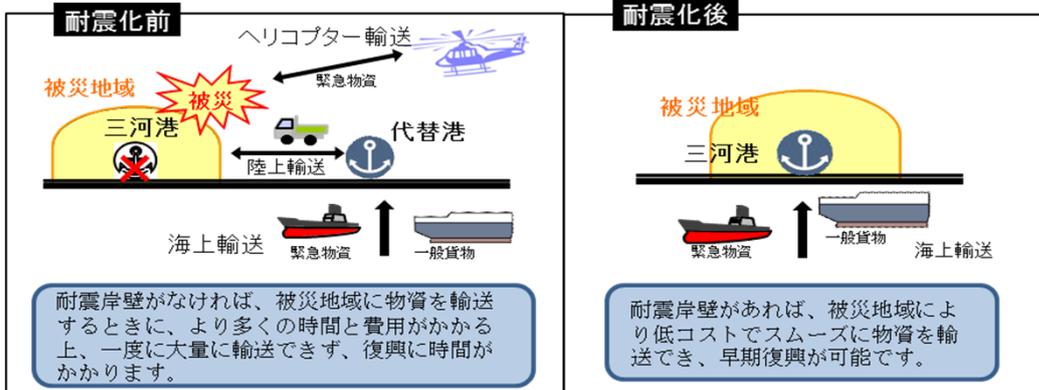
また、近い将来に高い確率で南海トラフ巨大地震の発生が予想されていますが、自動車輸出入の拠点である三河港では完成自動車を扱う耐震強化岸壁が皆無であり、震災後の企業活動の継続及び早期復興が困難な状況です。



《位置図》



■7号岸壁における岸壁延長不足のイメージ



■岸壁の耐震化前と耐震化後の違い(イメージ)

そこでこれらの問題を解消するために、7号岸壁を延伸し、さらには岸壁の耐震化も行っていきます。これにより沖待ちが解消し、非効率な物流機能が改善できるほか、背後圏の緊急物資輸送機能が確保され、企業活動の継続や早期復興が可能になり、自動車流通港湾としての機能を強化できます。

本事業によって、効率的な物流機能が確保され、三河港を利用する地域産業の国際競争力の向上、低コストで効率的なストック管理、CO2排出量やNOx排出量の軽減、さらには地域住民の安全安心の向上が期待できることから、当事務所では円滑に事業を進めていけるよう努めていきたいと思っています。





第13回伊勢湾再生海域検討会で三河湾部会の報告

3月7日、名古屋駅近くの安楽ホールにおいて、第13回伊勢湾再生海域検討会（事務局：中部地方整備局港湾空港部）が開催されました。伊勢湾再生海域検討会は当事務所で開催している三河湾部会の上位検討会で、伊勢湾全体における行動計画の目標や施策などを具体的に検討していくために行われています。

当所から2月27日に開催された三河湾部会の検討内容や議論について報告をしたほか、伊勢湾シミュレータ*の検討状況や伊勢湾で行われている環境学習などの活動状況についての報告がありました。

委員の方々は、疑問点の確認や今後の取り組み方針など熱心に確認されておりました。
*伊勢湾における水質環境を予測するための数値解析シミュレーション



検討会のようす



2013年度夏以降イベント紹介



三河港湾事務所では昨年度、夏休み以降も現場見学、環境学習および地元行事などのイベントを開催・支援し、多くの方々にご参加いただきました。ここではその一部をご紹介します。



■ 三河湾環境チャレンジ
(蒲郡市主催)



船上学習として、竹島や西浦、東幡豆周辺を航行しながら、三河湾の水温や透明度、プランクトンの発生状況を調べました。

9月19日



■ 下水道の日統一キャンペーン
(豊川流域下水道推進協議会主催)

10月5日



三河港内や豊川浄化センターを船上から見学したり、カメラの活用や下水道のビデオ学習を行いました。



■ 芳川渡し場まつり
(高浜市芳川町地先)



昭和31年の衣浦大橋完成に伴い廃止された「藤江の渡し」の記念碑を地域の文化遺産として継承し、地域の交流と海に親しんでいただくため毎年行われているものです。

10月27日



■ 亀の子隊クリーンアップ活動
(田原市・西の浜)

11月17日



「川と海のクリーン大作戦」を兼ねているもので、亀の子隊・協力企業・一般参加の方々協力しゴミを拾い集めました。

三河港湾ぎャラリー



作品No.20 387m
(蒲郡市・竹島)



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00~12:00と13:00~17:00
(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省 中部地方整備局



三河港湾事務所
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312
<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>